

あ ら や 衆 報

No.102 平成16年1月1日

発行・新屋振興会 会長高橋昌一
 編集・新屋振興会広報部
 印刷・株式会社J A プリントあきた

- ② 平成15年度県・市に対する要望事項の回答
- ③ 住みよい街をめざして
- ④⑤ 蘭州市小学生友好交流団を迎えて
- ⑥⑦ 行事トピックス
- ⑧ わが町内自慢おれほのええどこ
- ⑨ 新屋地区町内会所在地一覧
- ⑩ 平成16年あらや町の行事予定表



行く年、来る年

2003年回顧



良き年となることを期待して



新屋振興会会長
高橋 昌一

万葉集巻二十の中に大伴家持が年頭に詠まれた歌があります。

新しき年の初めの初春の
今日降る雪のいやしけ吉事

この歌は、今年一年音もなく降り積もる雪のようには豊年万作で、良い事があとからあとから絶えることなく重なることの願いをこめた歌です。

新屋のみなさん

新年おめでとうございませう

今年は、秋田市の建都四百年に当ります。また、学園の街新屋では、日新小学校が創立百三十周年、西中学校が創立四十周年、新屋高等学校が創立二十周年を、そして公立美術工芸短期大学が創立十周年を迎え、地域の教育機関がそれぞれの節目を祝うまさに、いやしけ吉事の新しい年のスタートとなります。

昨年は、総会でご承認いただきました平成十五年度の主要な事業も振興会役員を始め、町内会長、各種団体長、関係者、町内の皆様のご協力の下に、順調な進展をみていたるところです。

その中でも、特筆すべきものとしては、西部工業団地に情報サービス業のプレステージ・インターナショナルが立地され、現在操業されていることでもあります。

この企業の誘致につきましては、秋田市のご配慮はもとより、公立美術短期大学の石川好学長のお力添えが極めて大きかったことをご紹介させていただきます。

さて、今日の資本主義社会の下で繰り広げられる自由競争は、時として富の偏在が起り、社会的・経済的弱者が生まれております。これらの救済には、国や県・市町村等の行政の積極的介入が必要とされますが、私達町民一人一人にも求められているものがあります。それは、「相互理解」と「共存共栄」という心の持ち方にあると思います。自分の中に相手を見、相手の中に己を見ることが、平和な生活をしていくうちに、他人の痛みを分かる心をはぐくむことが大切です。国際社会においても、自由競争の結果が支配、被支配の関係を作らないよう努力すると同時に、私達の街も上下のない共に生きる優しい街づくりに努力しなければならぬと考えます。本年もまた新屋地域の発展に果敢に挑戦してまいりたいと思っておりますので皆様の一層のお力添えをお願いいたします。

平成15年度、県、市に対する要望事項の回答

新屋振興会の年間事業計画の一つとして、毎年各町内、各種団体から町を住み良くするため、上部機関に対する要望事項を取りまとめ、国、県、市等に要望書を提出し、回答を頂いております。

本年も、各町内会、新屋振興会からの要望項目を7月28日「町内会長・理事連絡協議会」において整理し、県に2項目、市に5項目の要望書を提出しました。その回答が、県、市より出されたので10月31日第2回「町内会長・理事連絡協議会」が開催され、新屋振興会事務局より報告されました。若干の質問・意見等が町内会長より出されましたが、継続となっている事項については、粘り強く今後も要望していく事で承認されましたので、要望に対する県、市の回答をお知らせします。

要 望 事 項	回 答
<p>◎秋田市に対する要望事項</p> <p>1. 西部公民館の増改築を一日も早くお願いしたい。 (継続)(新屋振興会)</p> <p>2. 新屋コミュニティセンターの早期建設をお願いしたい。 (継続)(新屋振興会)</p> <p>3. 市営住宅の早期建て替えをお願いする。(継続)(市営住宅町内会)</p> <p>4. 町内の道路側溝の泥上げ清掃をお願いします。(南団地町内会)</p> <p>5. 大川端带状近隣公園の水路の汚れや下流の溜まり水などの改善を図ってほしい。 (十条団地町内会)</p>	<p>各公民館の増改築については、それぞれの老朽程度や利用率を考慮しながら検討しているところです。西部公民館についても、こうしたことを考慮しつつ、<u>他公共施設との複合化も視野に入れながら検討してまいります。</u> 《生涯学習室》</p> <p>コミュニティセンターの整備については、基本方針として2年間で1館を建設するとしてきたところですが、昨今の経済状況から本市の財政も非常に厳しい状況となっており、単独でのコミセン建設は非常に困難となってきています。また、平成16年度に予定されている市町村合併等の関連からも公共施設の再配置等、検証、見直しが進められています。今後これらを踏まえ他の公共施設との合築など、複合化を念頭に検討してまいりたいと考えています。 《自治振興課》</p> <p>市営住宅の建て替え事業については、「公営住宅ストック総合活用計画」に基づき、老朽化の著しい小規模団地の統廃合や借地の解消などを含めた計画の中で行っており、ご要望の新屋比内町団地については、現在建て替え事業を行っている牛島清水町3号棟の完成後、建て替えに着手したいと考えていますので、ご理解をお願いいたします。 《住宅整備課》</p> <p>☆土地買収後、着工予定として平成17年度からと報告あり。</p> <p>現地を調査したところ、要望範囲が広い為、作業に時間を要することから、年次計画で側溝清掃を実施してまいります。なお、箇所別の年次計画については、土砂の堆積量や排水の流れなどを調査し、優先順位をつけ、対応してまいりますので、ご理解願います。 《道路維持課》</p> <p>流水量が少ないため、水路にゴミが溜まったり、下流は流れなく溜み悪臭が発生しているため、水路の清掃作業や滝口部分の汚泥除去作業を引き続き行うとともに、下流部の溜みや臭いの解消策として、排水路の改修などを検討してまいります。 《下水道建設課》</p>
<p>◎秋田県に対する要望</p> <p>1. 笹町のバス通り東側側溝の一部没落箇所の補修を、また、U字溝で全面補修をお願いします。 (笹町町内会)</p> <p>2. 豊岩踏切の拡幅を早期にお願いします。 (南団地・沖田・高美町・田尻沢各町内会)</p>	<p>現地を確認したところ、西側については、最近整備されておりましたが、東側については延長約160mほどの、上蓋タイプの有蓋側溝でした。側溝の整備については、県民の皆様からの要望が多く、設置については、道路冠水・溢水被害や排水不良など緊急に対応しなければならない箇所を優先的に実施している状況でございます。このためご要望の箇所については、今後、側溝の破損部分の改修を検討してまいります。全面改修については、電柱などの支障物件があり、これらの移転などに調整が必要となるため、直ちに実施することは困難な状況です。</p> <p>現在、秋田市と道路の引継に関して協議中ではありますが、ご要望のとおり歩道が狭く、歩行者や自転車などの踏切事故が心配されますので、秋田市と十分に協議してまいります。</p> <p>☆今後JRにも要望することも検討していきます。 《建設交通部道路環境課》</p>

表 彰

- 旭日双光章 自治功勞 高橋昌一(北新町・73歳)
- 秋田市技能功勞者 左官業 加藤光男(比内町・68歳)

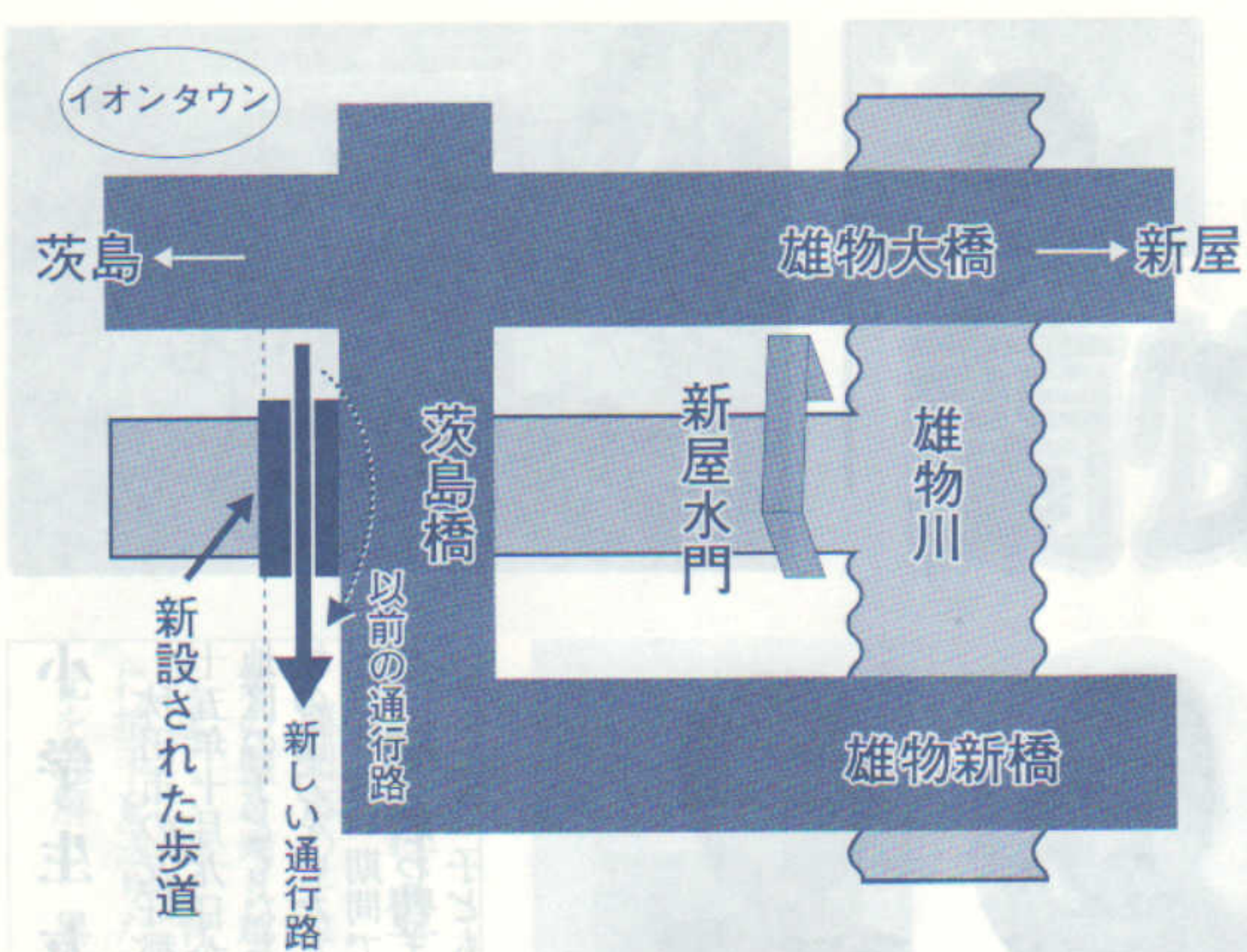
買 い 物 は 新 屋 地 区 の 商 店 か ら

住みよけ街をめぐって

茨島橋（通称・新屋水門） 付属歩道橋完成

市道・割山→向浜線の船場町、渡辺鉄工所付近から、秋田大橋までの茨島側に車道と歩道を区別するガードレールが設置され、歩行者や自転車車が安心して通行できるようにになりました。反面、茨島橋上では歩道が無く、しかも狭隘で、車の交差でいっばいの車幅より無く、歩行者や自転車の人は、一旦歩道から車道に出て通行する危険を強いられておりました。

新屋勝平振興会が秋田市建設部や国土交通省秋田事務所要望して参りましたが、明快な回答が得られませんでした。そこで、西部



地区振興会に取り上げて貰い、新屋振興会高橋会長が、東北整備局道路部長野中宏氏にお願いしたところ、快く検討して頂き、廃棄処分される予定の仙台市と盛岡市の歩道橋部分を再利用し建設されたものです。

この歩道橋の竣工により歩行者、自転車、そして自動車も安心して通行できる市道になりました。

歩道橋の完成を祝って、去る十月一日渡り初めを行いました。神事終了後、高橋会長から、国土交通省や秋田市に対する御礼の挨拶があり、続いて、建設に係わった

川崎国土交通省秋田河川国道事務所長、今後維持管理する佐々木秋田市建設部長、利用者代表高橋新屋振興会会長、野口新屋勝平振興会会長によるテープカットを行い、勝平保育園の年少組二十七八人を先頭に、国土交通省茨島出張所市道建設課、道路維持課の職員、新屋振興会役員、勝平振興会役員をはじめ、住民多数による渡り初めにより安全を祈願いたしました。

今冬の除排雪も万全に

除排雪問題懇談会開かれる

本格的な冬を前に、十一月二十六日、昨年に引き続き除排雪問題懇談会が開かれました。この会は新屋振興会の主催によるもので、当日は、二十町内会の会長等のほか、市道維持課職員、新屋地区担当業者代表が出席しました。はじめに秋田市制作のビデオ「除雪はだれのため！なんのため！」が

好天下、第三回新屋地区防災訓練実施

秋の好天に恵まれた十一月二日、西部運動広場を会場に、第三回目となった新屋地区防災訓練が行われました。この防災訓練は、秋の防火週間に合わせて、新屋地区自主防災協議会（高橋昌一会長）が取り組んで来たもので、今年は十五町内会から約百五十人が参加しました。

訓練は、秋田市消防署新屋分署職員の指導の下に四班編成で進められ、煙中避難訓練、バケツリレー、初期消火訓練、簡単な救助方法に汗を流しました。また、秋田市消防団新屋分団（佐々木春男分団長）が、きびきびとポンプ操作を実施しました。



ももさだ海岸クリーンアップ

ももさだ会事務局 植田

この活動は、平成四年に新屋青年交流会の地域活性化事業の一環として始められました。その後、同会の解散を期に当時の会員が「なんとかクリーンアップを継続したい」ということで、平成十一年にももさだ会を結成し現在に至っております。活動の目的も、当初は新屋海浜公園の早期整備を目指してという

ものでしたが、現在では各会や企業のボランティア活動であったり、参加者自身の健康のためとかさまざまです。当会としては特に目的を掲げず、町民がこの海岸に足を



運ぶということを大切にしたいと考えております。参加人数は一頃、三百人を越えておりましたが、ここ数年は百五十人位で推移しております。海岸の風景もこの十年で様変わりいたしました。休日には多くの人々が訪れております。自然のままの海岸を残しながら、少しずつでも整備が継続されればと願っております。

あいさつ運動

秋田市立日新小学校

日新小学校は、「小さな親切運動本部」から「あいさつ運動推進校」として依頼されました。これは全県で、仙北郡中仙町立中仙小学校と本庄市立北内越小学校の三校が依頼されたものです。七月四日に、地域の関係団体が参列し、全校「あいさつ集会」が開催されました。同本部渡辺副代表から「依頼証」とあいさつパッチが全校生

7月のめあて

あいさつ運動推進校

○近所の人に あいさつ しよう!

徒に授与されました。その後、六年四組の生徒により、あいさつの大切さについて寸劇を交えて全校の生徒にアピールがありました。集会後、PTA、振興会、社会福祉協議会、市民憲章や婦人会など約二十団体が地域として、今後の運動推進について協議をした結果、佐々木幹隆PTA会長を実行委員長に選任し、具体的な取り組みを進めることに致しました。全校生徒から評語を募集し、選考委員長に振興会高野トヨ副会長を指名し、入賞作の選考を行ない十一月五日（水）九時から、全校「あいさつ集会」が、関係団体が参列の下開催され、優秀な評語の発表と表彰を行いました。尚、社会福祉協議会が、高学年、中学年、低学年の各一点を看板にして、数枚を地域に掲示致しました。

あ ら や ッ 子 交 流 団 を 迎 え て



宮川まりん(4年生) 相原 大河(3年生) 山本 奈菜(3年生) 鈴木 遥樹(2年生) 宮川心之助(2年生) 鈴木 満葵(1年生)

小学生友好交流団 新屋町にホームステイ!

秋田市の友好都市である中国蘭州市から青少年交流団二十一名(小学生十五名、引率六名)が、平成十五年十月九日から十二日まで、秋田市を訪れ、日新学区の子どもたちと交流活動を行いました。地区の子どもたちとの交流をとの事で、新屋子ども会育成連絡協議会・日新小学校PTA・日新小学校の協力をいただき、新屋地区子ども会主催「歓迎交流会」が西部公民館で開催されました。三日間と云う短い期間ではありましたが、子どもたちにとっては、楽しい思い出、そして素晴らしい体験であったと思われまます。

◎中国蘭州市の子どもたちを迎えるお話を聞いたとき、どう感じましたか

ワクワク・ドキドキ

安澄さん・私は、言葉が通じなければどうしようという心配もありましたが、中国の子どもと友達になれることに胸がワクワクしました。

大河くん・ドキドキしました。どんな人が来るのか楽しみだったからです、ほくは日本の生活について教えたと思います。茜さん・私の父が学生時代中国語を専攻していたのと、母も若いとき中国に行った事があると聞いていたので、中国は身近な国と感じており、中国のお友達を迎える事には不安というよ



りも、妹ができるみたいで楽しみでした。
葵さん・私は、蘭州市の友達を迎える時、ワクワクして仲良くなれたらいいなあと思いました。
奈菜さん・ドキドキして友達になれるか心配でした。
瀧岡くん・ほくの家に来ることになり、はらはらは、ドキドキしました。お友達と仲良しになれるか、ちよつと不安でしたがすごく楽しみでした。
まりんさん・私の家には一回フイージーの学校の先生が来たことがあり、初体験ではなかったのですが、あまりきんちようしなかつたけど、交流の日が近づいてくると同時にきんちようしたけれど、どんな人がとまるのかなあと、とても楽しみでした。
菜月さん・外国の友達が家に来ると聞いてとてもドキドキしました。

◎生活、言葉の違いにどのように対応しましたか

言葉はゼスチャー

葵さん・まず日本語を話して、手で表したり、分からなければ紙に字を書いたりしました。
菜月さん・中国は漢字だけで、ひらがながないのでメモ帳に漢字を書いたりしました。
瀧岡くん・僕の知っている簡単な



無邪気な天使のホームステイ
初日顔合わせ、思った以上に言葉の壁は厚く、娘の片言の英語と私の必死のジェスチャーに李ちゃんも不安そう。ところが多少中国語を話せる主人と対面したとたんあつという間にうちが解けて、着いた晩から家中を使つてかくれんぼしたり目隠し鬼をしたり、外へ遊びにいって家に帰つてきて家族全員参加する昔ながらの遊びが大好きというちよつびりいたずらっ子な天使でしたが、大切な忘れていた何かを思い出させてくれました。
素晴らしい機会をお与えいただきありがとうございます。
感謝



菊池 晶代

ドキドキハラハラの三日間

英語、ハロー、オッケー、サンキューはお友達に通じてたし、あとは身振り、手振りでお話をしました。生活の違いはあまり無かったので平気でした。
奈菜さん・ジェスチャーをしたり、中国語会話辞典を見ながら対応しました。日本語でもなんとかなりました。
まりんさん・ノートに漢字をかい



山本美千代

少しだけ英語を話せるので、英語を使って会話をしました。
茜さん・私もおもに英語とジェスチャーで、母はお構いなしで日本語を必死に身振り手振りを使つてやりました。父が通訳をしていました。生活の違いというよりいたずらっ子でしたから、こんな妹だと楽しいけれど大変だと思いました。

中国蘭州市小学生友好交流団の子供達を迎えて
今回、ホストファミリーとして、中国蘭州市の子供達を我が家へ迎えることができ、家族にとりまして忘れられない思い出を、刻むことができました。学校の先生方、また、関係者一同様に厚く御礼申し上げます。迎え入れました子供達二名とは、限られた時間ではありましたが、有意義な心の通い合う親交を結ぶことができ、何よりも子供達同志が仲の良い友達となれたことが、大きな収穫であったように思っております。
親子共々、近い将来子供達と再会できることを念願している次第です。





二一ハオ!! はばたけ 蘭州市小学生友好



菊池 茜(中3年) 相原 安澄(6年生) 鈴木 菜月(5年生) 加賀谷 葵(4年生) 古谷 瀧嗣(4年生)

感性豊かな子供たち

秋田市立日新小学校 校長 芳賀 龍平

蘭州市の子供たちとの交流は、私たちに大きな財産を与えてくれた。子供たちの豊かな感性は言葉の壁を乗り越え、互いに相手を受け入れている。初めて会う蘭州の子供と二泊三日の交流で友情を広く、深く育む日新小の子供たちの前向きな姿勢に感心させられた。豊かな心を持った子供たちに拍手を送りたい。ふるさと新屋の歴史や伝統文化などに理解を深め、思いやりの心を持って異文化を理解し、異なる習慣や文化を持った人々と共に生きていく子供たちになることを願っている。

安澄さん・男鹿のなまはげ館を見学した時中国の友だちより母が驚いていた事、海は初めてと言いながら魚やカニをつかまえて喜んでいました。

奈菜さん・中国のおねえさんたちと、皆で秋田市太平山自然学習センターまんならめと男鹿のなまはげ館に行ったことです。

遊ぶ喜びは共通

◎交流会、ホームステイを通して楽しかった事を聞かせてください。



つながったのだと思いました。



◎交流会、ホームステイを通して楽しかった事を聞かせてください。

大河くん・ピアノをひいたり、テニス、ゲームをした事と一緒にお風呂に入ったこと
お風呂に入ったこと
茜さん・交流会は、迎える側が予め中国語を勉強しておけばよかったと思えました。楽しかったことは、どこの国の子どもも遊びを同じように楽しむ事が出来るんだと親近感を覚えました。
まりんさん・家族皆で、秋田マリナに釣りに行ったことです。
一番釣れたのは、私と同じ四年生のロンフェイさんでした。
菜月さん・祖父、祖母、そして私たち親子で大森山動物園に行きました。

◎将来海外にホームステイをして見たいと思いませんか

はばたけ見知らぬ世界へ

大河くん・ぼくもいつかは友達がいる中国、韓国、アメリカに行つて見たいと思えます。

奈菜さん・ホームステイをしてみたいと思えます。理由は蘭州に行つて中国のお姉さんに会いたいからです。

瀧嗣くん・言葉は通じなくても、楽しい思い出がたくさん出来たので、僕も行つて見たいと思えますが、海外は遠いので不安もちょっとあります。

葵さん・わたしは、中国に行つて見たいです。そしたら中国の人たちと会えるからです。

まりんさん・ホームステイをして見たい、将来助産婦になり、海外で働いて見たいので、海外の生活になれ友達をたくさん作りたいし、多くの国に行きたいです。

菜月・海外では、どのような生活をしているのか知りたいので、ホームステイをして見たいです。

安澄さん・将来海外に行つて、たくさんのお話を聞きたいです。そして、通訳の仕事につきたいです。

茜さん・今のところ私は日本が大好きなので、外国に行きたいとは思いませんが、日本にいてもいろんな国の方々と交流できる、今回のような機会に恵まれたことは大変いい経験になりました。

こういう機会を与えていただきありがとうございます。

感謝。

ザ・ジェスチャー

宮川 朝美

我家に蘭州の子供がやって来る。と、決まってきたら、不安と期待で過ごした日々、やって来たのはカワイイ三人組。来るまでは、あそこへ連れて行こう。こんな遊びはどうかと考えたものの、子供達にはなかなか通じず、身振り手振りの三日間。内容はともあれ、笑顔が絶えずにいてくれた子供達がいかにいいものである。言葉は、つけ焼刃でできるものではない。とすれば、世界に通じるジェスチャーで対応できる。新屋に住みながら世界を感じる事のできた日々、我が子供達も、海外へ出ていろんな事を学んで欲しいものである。

古谷 剛

中国の教育、娯楽と言う物に大変感銘を受け私自身も親として大変勉強になりました。
子供達はとても明るく元気でそのせいかどの子供も自信満々に見えてとても楽しく感じられました。また、子供なのに食事の際に先に私達に飲み物を勧められる所などは私達日本人も学ばなければいけない点だと思いました。
親の嫉だと思いましたが、何でも残さず食べて美味しいと親指を立て笑顔で返してくれたのが印象的でした。
今回参加できて大変楽しい時間を過ごす事が出来ました。機会があればぜひ自分の子に追加させたいと思っております。

ホームステイを通して

鈴木 敦

この度のホームステイは私達にとってもとても良い経験になったと思えます。言葉は全くわからないので、漢字や英語での筆談や、ジェスチャー交じりでのやりとりばかりではありましたが、それ故に意志が通じた時は、とても嬉しく思いました。

ただ子供達同士が、親が思っていた程スムーズに馴染んでくれず、やっぱと仲良くなれた頃には、別れの時というのが少し残念でした。もう少し事前の準備期間も含め、時間があればまた違った接し方ができたのかもと思えますが、それでも最後は涙ながらの別れだったので心は通じたのだと思っております。自分の子供のようにかわいい三人でした。

「心と心」の国際交流

相原 浩嗣

お互いに緊張し、他国の同年代子供を品定めでもするかのような目で観察し、ドキドキの対面式。「なああんだ同じだ！言葉が違うだけだ！」と、気付くまでは何分も掛からなかった。家では言葉を教え合ひ、楽しく過ごしていたが、肝心な時は手振りや目でお互いの意思を伝えていた。彼らにとっては言葉は絶対不可欠な物ではなく、心でしっかりと通じていた。国や人種、宗教・言葉の違い等、彼らにとっては全く無意味な物であり「心と心」で無邪気に遊んでいる姿を見て、平和の原点はここにあると強く感じた。



行事トピックス

栗田神社祭典

7/31
8/1

栗田神社のお祭りは、毎年七月三十一日、八月一日の両日行われてきました。本来の祭礼日は、旧暦の七月一日でしたが、明治以降新暦になって、八月一日に行われるようになったといわれます。

「お祭りの行事」

お祭りの時期が丁度夏の盛りにあたるため、宵宮の舞台演芸を楽しむ人々が、夕食後の夕涼みを兼ねて歌や踊りを楽しむ様子は、新屋の夏の風物詩ともなっています。この舞台演芸は栗田敬神会（会長 佐々木鉄夫さん）の協力で行われているもので、人知れぬ苦勞も少なくありません。

明けてお祭りの日は、境内にある相撲場の土俵での奉納相撲大会。子供達や相撲好きの大人達の楽しみとして定着し、戦後しばらくは秋田市内の草相撲として有名だったといえます。今は三捷会（会長 榎宏さん）や秋田市相撲連盟の皆さんのお力で秋田市近辺の小学校の相撲大会になっています。

また最近では、北新町町内会の皆さんによるバザーも行われ、古着や、古物、未使用の引出物また町内の人たちの畑でできた作物なども人気を博しており、近隣町内の人たちによって賑わっています。

「栗田神社の由来」

さて、栗田神社に祀られている「栗田定之丞如茂（ゆきしげ）」は、

江戸時代も後半の明和四（西暦一七六七）年、秋田市中通りに生まれ、三〇歳の時に新屋浜の警備を命ぜられた際、あまりの飛砂の害のひどさに植林を思い立ち、後半生を植林事業に捧げました。

定之丞が六十一歳で亡くなった翌年の文政十一（一八二八）年、定之丞と共に新屋の海岸への植林を続けた佐藤東四郎、大門武兵衛の二人が図って小祠を立て、その後安政四（西暦一八五八）年になって秋田藩に請願し、神社として認められました。

その後雄物川の改修工事のため大正元年現在地に移り、現在の建物、昭和一〇年平野政吉氏らの大きな支援の下に改築されたものです。

花火は私達に 夢と希望を与える

8/10

秋田市夏まつり雄物川花火大会 実行委員会

第十六回「秋田市夏まつり雄物川花火大会」は、昨年八月十日に開催され、多くの市民に夏の夜のひと時を楽しんで貰えたのではないのでしょうか。

昭和六十三年に、雄物川改修工事が五十年を経過したことを記念して、「雄物川放水路通水五十周年」花火大会として開催されたのが始まりでした。以来新屋・勝平・茨島地区の振興会が中心となって、実行委員会を組織し、秋



田市からの援助、秋田市内の各企業・団体等の協賛で今日まで継続してまいりました。最近では、「八月十日は雄物川花火大会の日」として、広く市民に親しまれ定着してきています。

今回の大会は好天に恵まれ、更に日曜日と重なったため大会が始まって以来、最高の人出となりました。次から次へと夏の夜空に打ち上げられる色とりどりの花火の競演、観客と一体となったアナウンスの進行が、この大会を大いに盛り上げました。大会テーマは「夢ふくらむ県都秋田の未来」と

「第一回は、市民からの公募花火を中心に、第二回は秋田西中の生徒による創造花火、又子供達を喜ばせた小学館プロダクションによるポケモン花火、第三部・四部は花火三業者による花火の競演、特に最後の超特大大スターメインは、満月の夜を彩り、大観衆から感動の声と万雷の拍手が起こり花火の素晴らしさを味わいました。十六回大会も特に事故もなく無事に終了しましたが、「夏」の後のゴミの山には、毎年の事ですが頭の痛い問題です。更に会場周辺からの苦情として、家の軒下等への放尿

新屋七夕祭

「チャイロン」を実施

8/12

新屋七夕保存会会長 佐々木良吉

八月十二日「よちよちの灯ろう祭り」が無事終了しました。「よちよちの灯ろう」は昔から新屋に伝わる子どもの行事の一つで、新屋七夕祭りの一部なのです。戦前まで盛大に行われていた新屋七夕祭りは、戦時中、灯火管制や物資不足のため中断しました。昭和六十一年に新屋の歴史を学ぶ会が中心となり、故川口弥之輔先生や故高橋松之助さん、それに老人クラブの

方々からご指導やご支援をいただき復活させたのです。その後も、中断することがありましたが、一昨年からは新屋商店会からの全面的なご支援をいただき実施しております。今年は、子どもたちと一緒に大小四〇〇基の灯ろうと、昨年亡くなったキリンの「たいよう」の灯ろうをつくりました。

実行委員は二十人弱。ほとんどが高齢者で準備が大変でしたが、多くの方から「来年やるときは声をかけてけれ。手伝うから。」といわれております。「新屋に生まれ、命ある限り続けていきたい」と思っております。

新屋の伝統行事

一月一日（元旦参り）
新年の安全と繁栄を祈る
一月十五日（小正月どんと祭）
正月に玄關を飾ったしめ飾りを焚き上げる。その火で焼いた鏡餅は、一年間の病氣のお守りになると信じられている。
二月三日（節分）
この夜大豆を煎って神棚に供え家中に撒き、撒いた豆を食べて年内の健康を祈る。
三月三日（雛祭り）
女子の節句として知られるが、本来は鹿嶋祭りと同じ厄除けの行事である。雛壇を飾り、菱餅、甘酒、桃の花を供えて雛人形をまつ。
特に女子を授かったうちでは、古くは知人を招いて振る舞うこともあった。
四月二十五日（天神さん・遊山）
男子を設けたうちでは特に初天神として親類縁者を招いてお祝いをした。
また、当日は「遊山」という子供達による自治的な運動会が行われた。大人が口を出さない「遊山」は、子供の一大年中行事である。
五月二十五、二十六日（山王祭）
古い歴史のある町新屋の鎮守、日吉神社の年に一度の祭典。
表町通りに並ぶ露店の賑わいは県内でも有名。
六月第二日曜（鹿嶋祭）
旧の端午の節句の行事が鹿嶋祭りとなつて伝えられている。前夜の菖蒲湯、早朝の露踏みなど健康を祈り、鹿嶋人形を厄災を背負わせて流す祭り。
八月一日（栗田神社祭典）
八月七日（七夕、井戸さらい）
よちよちの灯籠といわれる、新屋の七夕は、竿灯とは違ったしつとした風情のある七夕行事。
子供達や、特徴のある灯籠を持って歌いながら町内を練り歩く。
また同日は井戸替えの日でもあり、各家庭の井戸を掃除して、水神御幣を祭り、良好な水の御利益を祈る。
八月十三日（朝市）
朝早く近隣の農家、商人が集まって、お盆の花や野菜などを売る市場が表町通りに出現する。
各家庭では、お盆の必需品を購入する。
十一月二十六日（新嘗祭）
日吉神社秋祭
十二月十二日（山の神）
山から得る恵みは、木材を始めとして木の実に至るまで、様々なものがある。この日、春から秋まで平地に下りて恵みを授けてくれた山の神様が、山へ帰られる日として感謝と折りのお祭りをする。
翌十三日からは新年を迎えるための準備の煤敷い（すすはらい）が行われる。



敬老の日にあわせて

9/14・9/15

新屋婦人会 伊藤 祐子
平成十五年九月十四日、十五日の二日間の日程で新屋地区の敬老会が開かれました。

両日とも穏やかな秋晴れに包まれてご出席の三百二十名の方々はとても若やいできいきとしておられました。婦人会の面々も元気を頂いて楽しくお手伝いをする事ができました。

冷夏のおおりで不安な時期でしたが、佐竹市長の祝辞の中で「秋田県は稲の作柄は心配ありません」と力強く言い切ったので会場がほっとしたのが印象にあります。

いつの時代も子供はいとおしく可愛いものです。まだあどけなさが残る園児たちのお遊戯に目を細め、小学校の歌や踊りには手拍子で盛り上げ、一体となった会場の雰囲気はとても感動的でした。お年よりも子供もまさに地域の宝だと思いました。



日々、高齢社会、高齢者と言われる度に老いた母たちは「迷惑かけるな。しかだねな。」とこぼす事があります。生きていくから年を重ねる事ができる喜びを持ちつづけてほしいです。年は気にせず、又元気で会いましょう。

頑張りました

南団地町内会

9/28

南団地町内会長 嘉藤 孝夫
例年より二週間遅れて行われた新屋町民運動会も天気に恵まれ、成功裏に且つ盛大に行われた事をお祝い申し上げます。

我が南団地町内会が二十四年振り三回目の優勝を飾ることが出来ました。

その優勝の喜びも忘れた頃に優勝の感想文を書いて寄稿しろとの要請があつて当日の感激を思い出しているところですが、五十歳を過ぎると記憶力が低下し、一カ月前の出来事を忘れていた状態ではなかなか進みません。

晴れだったのか、曇りだったのか、ちよつと雨も降つたような気もするし、当日の天気さえ思い出せない状態です。

何処の町内会も同じだと思いますが運動会と言えば参加者の動員と競技者の選出で担当する町内役員は大変苦労しています。

幸い我が南団地町内会には子供から老若男女、赤ちゃんまで、そして久し振りの人、新顔の人、沢山の方々が参加してくれ大変盛り上がる事が出来ました。

最初の競技ボール送り競争は、前後の人がピタッと隙間を開けない作戦が功を奏したのと小学生の活躍で一位を勝ち取ることが出来ました。アンカーの鈴木謙さんがコースを間違えて二往復するハプニングがありました。が余裕のトップゴールでした。

得点競技二つ目の団結の力(綱引き)は、相手は上表町町内会で体躯は相手町内会が勝つていました。我がチームは相原正弘さんを先頭に鈴木幸子さんがアンカーに、前後がピタリくっついて力を分散させない作戦で僅か二センチの差の勝利でした。

得点競技三つ目、玉入れ競技は南団地が最も不得意とする競技で私の知る限りでは勝つた記憶がありません。案の定入っている玉が少なく、完全に負けかと思つたのに何時の間にか勝つていました。いつもと違う競技方法だったので対戦相手を間違つて見ていたので。

南団地町内会が苦手としていた綱引きと玉入れを勝つたことで優勝がグッと近づいて来ました。最後の年齢別対抗リレーは圧巻でした。トップランナーからアンカーまで全員が一位をキープし二位のチームに一〇m以上の差をつける完全勝利でした。六十代で走つた伊藤さん、来年は五十代でお願いしたいものです。

メンバー選出と作戦参謀を担当した鈴木さん、繰出しを担当してくれた野中さんご苦労さんでした。町内のみんなが走つて、みんなが応援した感激の一日でした。大会最後の「万歳三唱」が夢を見ていような心地でした。

それにしてもあれほどの大きな大会を事前の準備から時間通りのスムーズな運営している新屋体協の皆さんには感心しています。本当にご苦労さんでした。

新屋衆の皆さん、また来年も新屋町民運動会で頑張ります。



街を美しくするためのフォーラム開催

10/26

新屋振興会総務部長 小松 勉
一昨年、第一回「ゴミゼロフォーラム」が開催され、継続すること意義あり、また、子供達の意見もあつて良いのではという多数意見を聞き、第二回は、昨年十月二十六日(日)、新屋支所二階会議室で「新屋地区の環境全般、または住み良い新屋」について、新屋地区の小・中・高校に通学する児童生徒さんの意見・提言を述べていただいた後、出席者よりコメントをいただきました。

◎発表要旨
日新小学校六年、赤川由香さんは、小学校内で、新屋のまちは住み良いかというアンケートの結果、「住み良い」と答えた児童が、八十三パーセントも占め、その要因として、あらやさくら公園、松林等、緑と自然に恵まれ、花火大会、お祭り等、ふれあいのイベントも多く、公共施設にも恵まれている。また、日新小学校では、今、あいつ運動を通じ、もっと住み良い新屋を目指していると発表されました。

また、同じく日新小学校六年、佐藤靖子さんは、「いいえ」と答えた十六パーセントに注目し、ももさだ海岸のゴミが多いこと、国道七号線の歩道にタバコの吸殻が多いこと等を述べ、買った物には責任を持つこと(粗大ゴミの投げ捨て)、ポイ捨てをなくすこと等主張されました。

次に、美術工芸短大付属高等学校・デザイン科三年、矢田目真希子さんは、人と人との交流を深め、住民同志があいつを交すことで地域の連携を深め、最近、多発している痛ましい事件を防ぐことができる。

子供の頃、鹿島祭り、遊山等に参加し、人と人との繋りが深まったと発言されました。

以上の発表後、会場より、バス停の待合所花を植え、喜ばれている話や、市民憲章の立場から花いっぱい運動を実施することで心の安らぎとなつていくこと、子供育成会の立場から地域交流の大切なこと、また、公園の清掃等大人も環境整備に努めていること、公共機関の集中化、駅前駐輪場の問題等活発に話し合われ、最後に、高橋昌一振興会会長が、発表者、出席者にお礼を述べ、次回も形を変え実施することを発言され、散会しました。

次に、新屋高校三年、大門由佳さんは、新屋地区の公共交通機関の便が悪く、特に昼、十二時台の電車がいない。公共交通機関の整備を図ることで、地球の二酸化炭素の減少にも貢献ができる。また、公共機関が散在しており、集中化することで時間の無駄をなくすことができると提言されました。



わが町内自慢Ⅶ

わが町緑町

緑町町内会長 横山 秀男

▼滔々と流れる雄物川の岸辺に立って、秀麗太平洋の峰々を仰ぎみると郷土新屋の自然の豊かさが感じられます。

早春には真白だった山容も、麓からだんだんと緑に変わり、また秋には山頂から紅葉が山麓へと駆け降りて、全山紅色に染まる美しさは数ある新屋の風景の中でも最高で、太平山の姿から四季の移り変わりがみられるのはわが緑町だけでしょう。

▼緑町は新屋二十三町内でも一番北側の端に位置し、旧酒田街道に沿って開けた町内です。かつては雄物川が土崎湊に注ぎ、新屋の街が勝平と陸続きであった頃

には、この街道筋にも住宅が並びそこにも緑町があったと言われております。

大正六年に雄物川改修工事が始まり、この居住者たちが勝平と新屋に移転し、緑町が寸断され南北に短い町内となったのです。しかし、いまでは国道七号線バイパスが臨海十字路から海岸線沿いに完通し、裏山だった松林に住宅地が造成され、東西にも幅広い町内へと変わりつつあります。

現在緑町は、世帯数一七一世帯、居住人口三八〇人が生活しております。(アパートを除く)

▼緑町は新屋では未だ小さな町内ですが、まとまりのある町内と言われ、多数の先輩、諸兄を新屋の各種団体に排出し、新屋の牽引的な役割を果たしてきたものと自負しております。

しかし、住民の高齢化とともに昔のように活躍できる人々も少なくなり、その機会もなくなりまして。いま町内で取り組んでいる課題は、新屋の伝統行事である遊山・鹿島さん・日吉神社祭典・地藏さんのまつり・栗田神社のまつり等々をこれからの若い人々に如何に正しい形で引き継いでいくことが私たちに与えられた使命であるとともに、子供達にはこの伝統行事を体で味あわせ、楽しませ、その体験を通して、成人した後の財産として思い出に残るようにして挙げたいと努力いたしておるところです。



町内の活性化を目指して

下表町内会長 海風 敏夫

下表町は国道七号線から西に広がり、周辺五町内と隣接しています。

町内には西部公民館、銀行、郵便局、また、近くには「あらかやくら公園」があり、特に夜桜見物を楽しませてくれるなど、私達の生活に密着した各施設があることから、日常生活に適した環境のよい町です。

世帯数は二三〇戸ですが、子供の数は少なく、中高年者が多いこと、町内の集会所がないことから、他の町内が実施している納涼祭や、盆踊り等を行なうことができず、町内会独自の活動が停滞している状況です。

しかし、新屋の伝統行事でもある日吉神社の祭典、鹿嶋祭には子供会をはじめ、町内の皆さんが自発的に参加して楽しみ、新屋衆としての達成感に浸るひとときです。また、子供会は年二回の資源ゴミの回収、遊山等少ない人数のなかで懸命に協力し合って、町内ネットワークを確立しています。

一方、中高年者の方々は、自力で暮らしを楽しもうと覇気をみなぎらせている人が多く、西部公民館が近いせいもあり、いろいろなサークル活動に積極的に参加しています。

また、昨年は子供会の父兄を中心に、新屋体育協会主催のソフトボール大会に初めて参加しました。これも下表町を活力のある町にしようとする若いパワーの表われだと思えます。これからの下表町を担う皆さん

に大いに期待していると、高年齢化が進みます。

安全で住みよい町づくりが課題であり、自主防災組織の結成が急務であります。そのためには、町内一丸となって協力し合い、町内の活性化を目指して町づくりを努めたいと思います。



編集後記

おかげ様で一〇二号を発行することができました。ご協力いただいた皆様に厚く御礼申し上げます。皆様のご意見・ご感想をお待ちしております。

新屋支所気付 新屋振興会広報部
電話 八八八 八〇八〇

ISO 9001 認証取得
FMT 高白色度を誇る 炭酸カルシウム製造

株式会社 **ファイマテック**
秋田工場
代表取締役 片山 正治

西部工業団地 秋田市新屋鳥木町1-34
TEL 018-828-0171
FAX 018-828-0173

プレハブ建築総合メーカー

組立ハウス・ユニットハウス
各種備品、製造・販売リース

明和ハウス工業株式会社
代表取締役 打矢 富雄

本社工場/秋田市新屋鳥木町1-35
TEL 018(828)7100(代)
FAX 018(828)7102

外装金属パネル 内装用リバーシブルウォール
内外装アートパネル

VIVI-TONE
Jet Panel
創造と開発と...

DOKO
株式会社 道光産業

〒010-1633 秋田市新屋鳥木町1-47
TEL018-828-8111・FAX018-828-8100
E-mail doko@ruby.ocn.ne.jp

そば粉・もちろし粉製造販売

富士製粉産業株式会社

代表取締役 升谷 恵美子

〒010-1633 秋田市新屋鳥木町1番62号
TEL018-828-5701
FAX018-828-0515

水まわりのご用命は当社へ

秋田市指定工事業者
雄和町指定工事業者

吉田ビニール(株)

秋田市新屋鳥木町1番46号
西部工業団地内
TEL 018-828-2811
FAX 018-828-2817

農業・肥料・農業資材・種子
無人ヘリコプター

小泉商事株式会社
秋田中央営業所

〒010-1633 秋田市新屋鳥木町1-136
TEL 018-888-8811
FAX 018-888-8666

JR券 航空券 宿泊券 etc

“旅は、新しいあなた 自身の発見です”

有限会社 **フラワーツーリスト**
永井 要

〒010-1635 秋田市新屋前野町11-6
TEL 018-828-5941
FAX 018-828-7083
携帯 090-2600-7082

日用品・化粧品卸会社

真心こめて

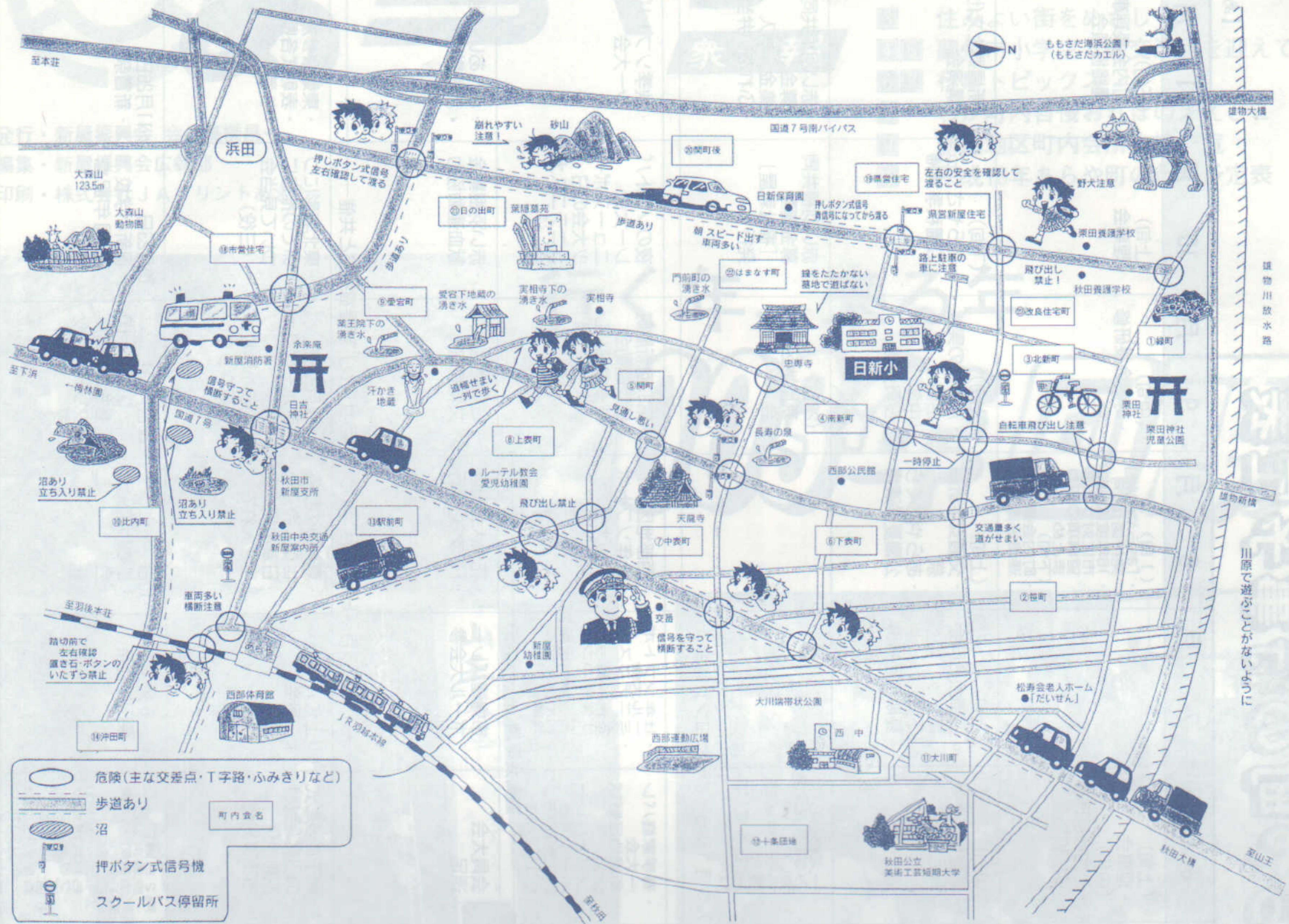
ダイカ株式会社

〒010-1633 秋田市新屋鳥木町1-93
TEL018(828)0100
FAX018(828)0500

保存版

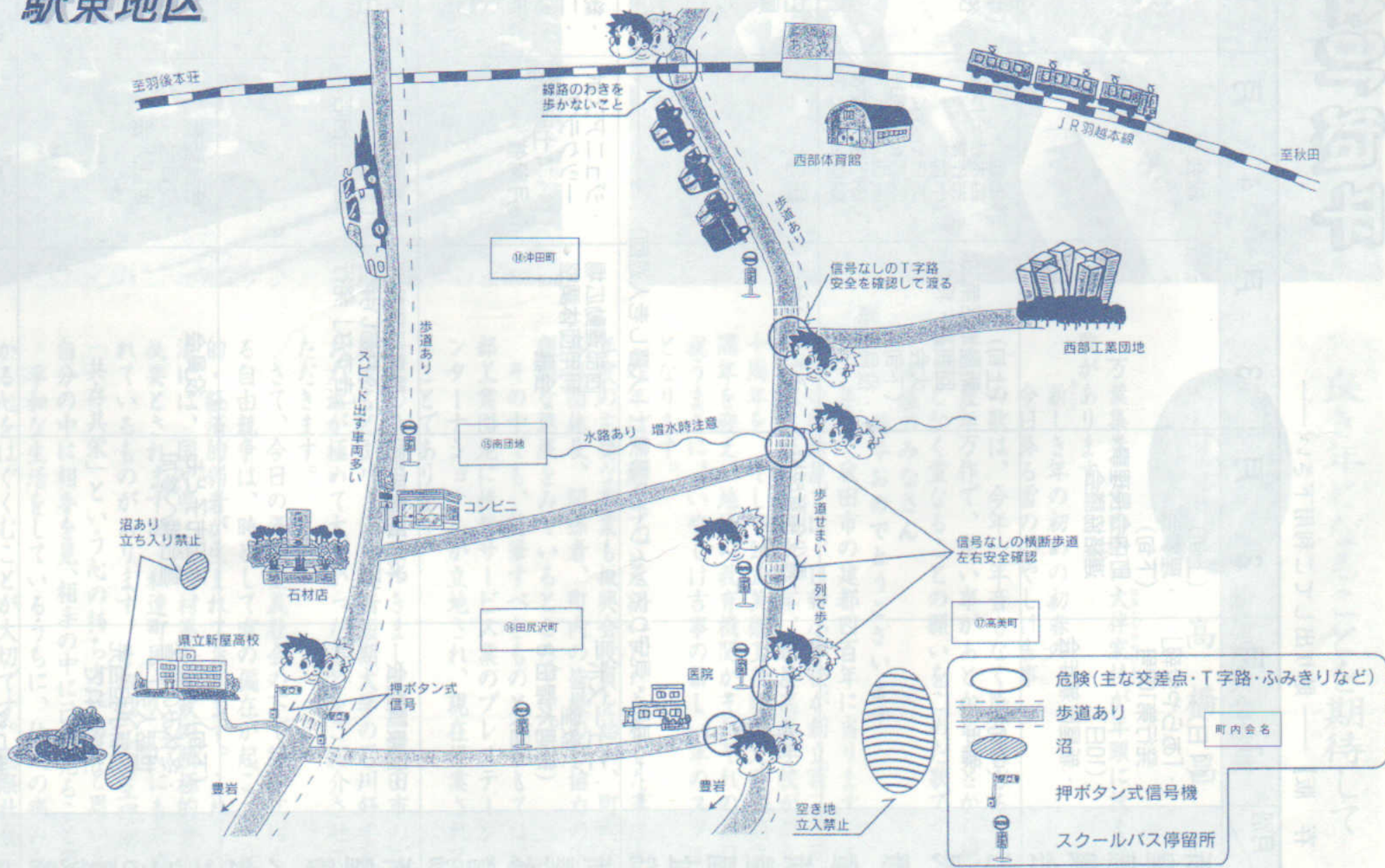
新屋地区町内会 所在地一覧

あだの町内わかるすか？



町内名	
①	緑町
②	笹町
③	北新町
④	南新町
⑤	関町
⑥	下表町
⑦	中表町
⑧	上表町
⑨	愛宕町
⑩	比内町
⑪	大川町
⑫	十条団地
⑬	駅前町
⑭	沖田町
⑮	南団地
⑯	田尻沢町
⑰	高美町
⑱	市営住宅
⑲	県営住宅
⑳	関町後
㉑	日の出町
㉒	はまなす町
㉓	改良住宅町

駅東地区



日新小PTA作成
日新小危険区域マップより

買い物は新屋地区の商店から

平成16年あや町の行事予定表

【保 存 版】—— 貼り出してご利用下さい ——

【あやや衆報編集部編】

月別	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
新屋振興会	(1日)「あやや衆報」発行第102号 (10日)新屋町新年会	(上旬)理事会 (下旬)町内会長理事連絡協議会		総会		(上旬)理事会 (中旬)町内会長理事連絡協議会		(1日)「あやや衆報」発行第103号・県・市に對する要望事項の取りまとめ (下旬)町内会長理事連絡協議会	(中旬)町内会長研修会	(上旬)理事会	(下旬)町内会長理事連絡協議会	(中旬)町内会長研修会
市民憲章	(中旬)新年会		(上旬)新屋地区第19回回春・将棋大会 (下旬)役員会議	(上旬)苗木仕分け配布作業 (中旬)あややさくら公園春季清掃 (下旬)緑の羽根の配布・観桜会の出店	(中旬)役員会議	(中旬)新屋地区定期総会	(上旬)四部会合同会議 (下旬)夏期巡回指導	(上旬)交通安全祈願祭 あややさくら公園夏季清掃	(上旬)声かけの実践活動 (中旬)役員会議	(下旬)あややさくら公園秋季清掃	新屋郷土文化講演会	(中旬)役員会議
新屋福祉協		青少年育成協力事業	ふれあい弁当	総会	日赤社資・社員増強運動 H16.5月～H17.3月「ゆう・ゆうサロン」開催	一人暮らしの集い 各種団体活動 「福祉新屋」発行			(20日)新屋地区敬老会	赤い羽根共同募金運動 「福祉新屋」発行	赤い羽根共同募金 集金、納入 ふれあい弁当	歳末助け合い運動
新屋体育協	ニュースポーツ教室 (毎週木曜日3～5回)		西部運動広場利用団体調整会議	ジュニアスポーツクラブ (2・4土曜日)毎月開催	総会 ニュースポーツ講習会兼交流大会 グラウンドゴルフ大会	春季家庭バレー大会 新屋地区野球大会 ソフトバレー大会 西部地区グラウンドゴルフ大会	壮年ソフトボール大会 スズメ大会 市一斉ラジオリレー 西部運動広場利用団体調整会議	西部地区壮年ソフトボール大会	第37回新屋町民大運動会 秋季家庭バレー大会	夜のソフトバレー大会 ニュースポーツ大会の日 ミニテニス大会	秋季ソフトバレー大会	
新屋婦人会	健康講話会	米料理調理実習	健康料理教室 ふれあい弁当 「ぎずな」発行	委員総会 (下旬) 観桜会出店	(下旬)日赤募金	会員大会 遠足	市婦連バレーボール大会参加	花火大会出店 「ぎずな」発行	敬老会協力 文化教室	赤い羽根募金 献血運動協力	ふれあい弁当 施設訪問	婦人講座
子ども育成協	(下旬)冬休みの反省世話人会 日新小担当先生を入れて	秋田市子ども雪合戦へ参加	役員会	会計監査 役員会 世話人会	(上旬)新屋子ども育成連絡協議会総会	県子連表彰式の出席(会長) 西部地区 市子連総会	(上旬)役員会	夏休みの反省世話人会 日新小担当先生を入れて	(9月23日)スポーツフェスタ 日新小学校体育館グラウンド	東北表彰について の推進についで見当会 (三役)	東北会参加 表彰式各県廻り番	秋田市子連表彰について の推進(西部地区)会長会議(公民館)
祭事・その他	歳日祭			(下旬)大川端観桜会 (あややさくら公園)	25～26日 日吉山王祭 (納前町・高美町)	第2日曜日(鹿嶋町・高美町) 1日(日)7:00～8:00 7:00～8:00 7:00～8:00 6日 新屋地区スズメ	31～8/1 栗田神社祭	10日 雄物川火花大会	28日(日)7:00～8:00 ももさだ海岸クリーナアツ	10月23日 日新小学校130周年記念式典	11月26日 新嘗祭	